



令和2年度

全国保健師長会活動報告

令和2年度

全国保健師長会 ブロック研修会資料



全国保健師長会

発足 昭和54年に発足（平成30年に40周年を迎える）

目的 保健師業務の進歩発展と会員相互の連携・親睦を図り、地域住民の健康に寄与し、わが国の公衆衛生の向上に資することを目的とする。

事業 保健師業務に関する情報交換
保健師業務について研修・調査研究

会員 自治体に所属し、保健師長と同等以上の職にあるもの 5,538人
(令和元年8月末現在)

設立準備期：昭和52年～の動き

- 昭和52年夏 国の予算編成時（国民の健康づくり施策）
国保保健師が市町村一般会計に移管され、**公衆衛生活動に従事する方向が示された。**
→同年 「混乱期こそ正しい情報を伝え、リーダーが団結し生産的活動を」と検討されたが、時期尚早と先送りされた。
- 昭和53年4月 国保保健師の市町村移管
都道府県も民生部から衛生主管部局へ
厚生労働省地域保健課内に「保健指導室」が設置され、市町村・保健所保健師を一元化して指導
- 昭和53年11月 国が、数県の本庁保健師指導者の意見集約
「保健所・市町村が共同体制で、地域保健サービスの展開には、リーダーの役割は極めて重要」

出典： 全国保健師長会のあゆみ 10周年記念誌

全国保健師長会の誕生：昭和53年～

- 昭和54年3月 設立総会 会員：300人
市町村保健師協議会設立の動きがあったが、「全国保健師長会」として設置された。

全国保健師長会に期待すること 座談会の抜粋

(昭和61年 全国保健師長会 全国保健師長会のあゆみより)

- ・保健所と市町村保健師ともに**リーダーの横の繋がりがもてるという画期的な会**になった。
- ・保健所はどうあればいいか、婦長として**意見交換ができる場**が出来る。
- ・保健所保健師の機能上の問題や業務量の増加で危機感を持っており、市町村保健師と**一緒に考えられる場**となった。
- ・**所長会との情報交換の場**となった。
- ・**市町村保健師の師長の位置づけが明確でなかった。組織としてどう考えるかが**大切。
- ・代議員会の参加で新たな気づきがあった。
- ・**ブロック活動の強化が必要。**
- ・保健師活動全般を見据え、広範囲な業務の準備から連携を図っていく過程のかわり、人が変化することを見せていく必要がある。**(保健師業務の可視化)**

出典： 全国保健師長会のあゆみ 10周年記念誌



展開期：昭和から平成・令和へ

○昭和54年3月22日 全国保健師長会設立

目的：保健師業務の進歩発展と会員相互の連携親睦を図り、
もって地域住民の健康に寄与し、わが国の公衆衛生の向上に資することを目的とする。

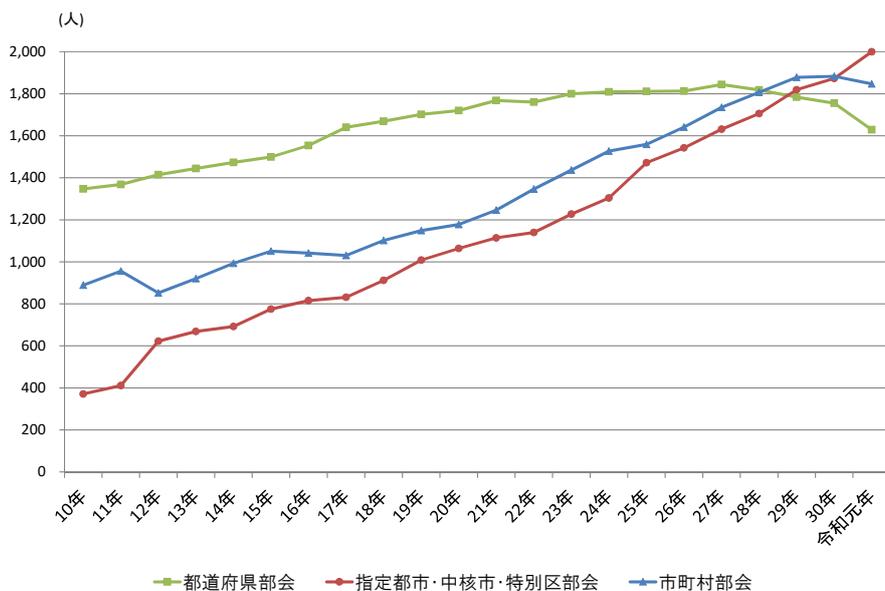
事業：保健師業務に関する情報交換
保健師業務について研修・調査研究

○昭和56年
規約改正し、市町村保健師が加入のしやすい体制へ

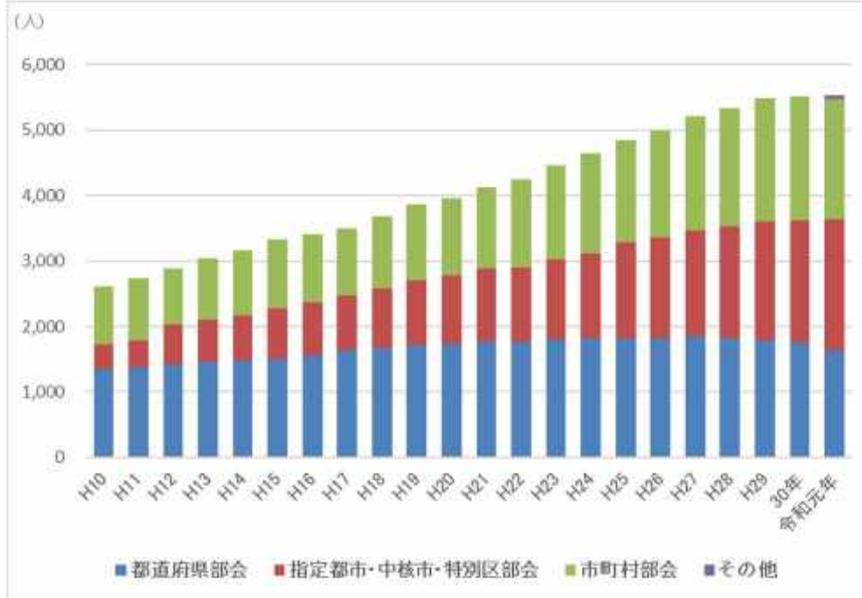
令和元年8月末現在 5,538人

出典： 全国保健師長会のあゆみ 10周年記念誌

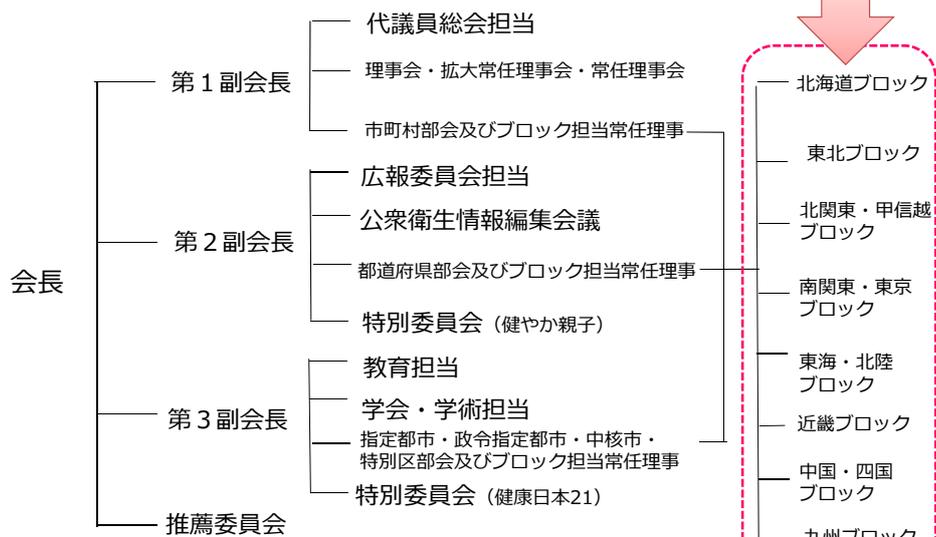
参考：部会別会員数の推移



参考:部会別会員数の推移



全国保健師長会組織図 (令和2年度)



※特別委員会 (災害時保健活動) は総務担当理事



令和2年度 全国保健師長会 活動方針

未来を創造する公衆衛生看護活動の展開 ～保健師の原点から住民とともに創る未来～

- 1 より専門性の高い公衆衛生活動の推進
- 2 ブロック、支部活動のより効果的な推進
- 3 各自治体の災害時対策における保健師機能発揮に向けた取組の促進
- 4 活動の安定的推進に向けた組織運営の充実



令和2年度 全国保健師長会 最重点活動目標

- 1 保健師活動の可視化及び質の向上**
 - 地域における保健師活動の充実強化を図るため、活動の可視化に努めます。
 - 都道府県部会・政令指定都市等部会・市町村部会各々の活動の充実を図ります。
 - ブロック研修会の充実を図ります。
- 2 情報発信の強化**
 - 各自治体における取り組みの課題や先進事例の情報発信に努めます。
- 3 災害保健活動の推進**
 - 『災害時の保健活動推進マニュアル』を周知します。
- 4 市町村の会員拡大**
 - 未加入自治体の加入促進を図ります。

全国保健師長会

2020 活動テーマ

未来を創造する公衆衛生看護活動の展開
～保健師活動の拠点から住民とともに創る未来～

各委員会等の活動報告の掲載

研修等の案内があります！

<http://www.nacphn.jp/>